

二の沼東側斜面の枝道の設定について

羅臼湖歩道のルート付替えについては、平成23年度の現地踏査や羅臼湖部会を通じて合意形成を図り、平成24年度からは歩道の保全修復のための工事が進められている。

ただし、二の沼東側の斜面への枝道の設定について、今年度も継続して検討する必要がある。

1. 検討の進め方

羅臼湖部会の現地踏査を9月ごろ開催し、現地踏査の結果を踏まえて平成24年度第2回羅臼湖部会にて結論を出すことを想定。

現地踏査は、羅臼湖部会の構成員のうち、希望する者には広く参加してもらう。

2. ルート選定にあたっての基本的な考え方

<優先事項>

○植生保全のため、湿原や希少な植生に影響を及ぼさないルートにする。

<配慮事項>

○質の高い利用環境を維持するため、羅臼湖地域の魅力を維持・向上するルートにする。

○専門家以外でも管理ができるよう、木道等の構造物が少なくすむルートにする。

○地域の資源として、関係者の十分な協議により検討を進める。

○利用者が安全に登山口にアクセスできるよう歩道の入口を選定する。

○歩道の拡幅や浸食、残雪期の道迷い防止のため、雪が吹き溜まる斜面や雪解けの遅い斜面を極力避けたルートにする。

○歩道の浸食防止のため、急傾斜地を極力避けたルートにする。